

事務事業マネジメントシート（令和5年度実施分）

事業名	空港推進事業、福岡空港整備事業費負担金			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管局	港湾空港局	所管課	空港整備推進課		福岡空港については、将来的に需給が逼迫する等の事態が予想されるとして、平成14年、国の交通政策審議会航空分科会の答申において、抜本的な空港能力向上方策等についての総合的な調査の必要性が明記された。
根拠法令	空港法				
開始年度	平成15年度	行政計画	なし		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡空港(空港利用者)	実施内容(事業手段)	令和5年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 滑走路増設事業において、関係機関と協議、調整を行った。	成果(見直し判断基準)	どのような状態になったら事業を見直し(終了)するのか 増設滑走路の供用が開始され、空港能力が向上する。
	事業目的 対象をどのような状態にしたいのか 滑走路増設により、空港能力向上を図る(空港利便性向上を図る)。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

ロジックモデル

①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)		③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)		④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)						
・国が整備する増設滑走路の令和6年度末供用開始に向けた協力、市関連事業の調整等を行う。		・滑走路増設事業が円滑に進む。		・増設滑走路の供用による、空港能力の向上。		・九州・西日本地域の発展を支える主要地域拠点空港として重要な役割を果たす福岡空港の機能が強化され、福岡市の国際競争力が向上する。						
活動の指標	指標の内容 ※②結果アウトプットに対応した指標を設定	年度	実績		目標		指標の内容 ※③中間アウトカムに対応した指標を設定	年度	実績		目標	
	滑走路増設事業が円滑に進むよう、その進捗に応じて、国や関係機関と協議、調整を図っていくこととする。	目標	R4年度	R5年度	R6年度	最終年度	増設滑走路の供用開始(滑走路処理能力の拡大)	目標	R4年度	R5年度	R6年度	最終年度
		実績	—	—	—	—		目標	事業継続	事業継続	18.8万回/年	R6年度
		達成率	—	—	—	—		実績	実施	実施	同左	
		目標	R 年度					目標	R 年度			
		実績						実績				
		達成率						達成率				
		目標						目標				
		実績						実績				
	達成率					達成率						

基本計画(政策推進プラン)					
事業区分	重点				福岡空港乗降客数 令和6年目標値:2,500万人(うち国際線650万人) 施策成果指標
施策コード	主	8-4-1			
	再	—			
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている				
施策	成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり				
事業群	空港機能の強化、利便性向上				
行政運営プラン					
取組方針	—				
推進項目	—				

事業費(千円)			
令和5年度決算額(見込額)			
		歳出	1,412,334
	歳入	特定財源	1,271,000
		一般財源	141,334
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R4	R6
	歳出	2,141,194	934,534
歳入	特定財源	1,927,000	841,000
	一般財源	214,194	93,534